

コロンビア経済概況(2020年4月)

1. 新型コロナウイルスの流行関連

<b>主な影響</b>
4月には、強制自宅待機措置が二度延長されたものの、新型コロナウイルスの感染が拡大した。他方、13日よりインフラ部門、27日より建設部門など8部門で経済活動の再開を許可し、感染拡大の抑止と経済の維持の両立が目指された。

<b>I. 経済・社会・環境に関する非常事態宣言及び公衆衛生上の緊急事態宣言に懸かる措置（中央及び地方政府）</b>	
<p>1 人的移動制限 (査証, 入院時の感染検査, 非感染証明書の発行, 隔離帰還など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年4月8日政令第531号によって、強制自宅待機措置が4月13日から4月27日に延長。</li> <li>・ 2020年4月24日政令第593号によって、強制自宅待機措置が4月27日から5月11日に延長。</li> <li>・ 4月24日、オロスコ運輸相は、衛生上の緊急事態宣言が続いている間、貨物便と人道便以外の国際便の発着を禁止することを強調した。(「ポルタフォリオ」紙, 4月25日)</li> </ul>
<p>2 貨物移動制限 (港湾, 空港, 陸路, 税関, 検疫, 物流の遅延など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年4月7日政令第523号に基づき、商工観光省は、6月30日までトウモロコシ, キビ, 大豆の関税を一時停止した。米ドルの為替レートの上昇が、豚肉, 鶏肉, 卵, 魚などの生産コストの85%を占めるこれらの商品の輸入に影響を与えることを考慮したものである。(「エル・ティエンポ」紙, 4月8日)</li> </ul>
<p>3 商業活動制限 (オフィス, 工場, 通勤路の閉鎖など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年3月22日政令第457号に基づき、3月25日から4月12日まで全国で強制自宅待機措置を実施した。原則的な人の移動の制限を課し、例外として、農林水産活動, 医薬品・食料品等生活必需品の生産・流通活動, 医療サービス活動, 警備活動, 清掃活動, 公共インフラサービス提供活動, 新型コロナウイルス対策を行う公務員, 生活必需品の買い出し行為, 高齢者・子供などの介助行為等の34の行為に基づく外出を許可した。</li> <li>・ 4月8日政令第531号によって、強制自宅待機措置を4月13日から4月27日に延長した。</li> <li>・ 4月24日政令第593号によって、強制自宅待機措置を4月27日から5月11日に延長した。</li> </ul>

II. 人の移動・経済活動の再開措置（中央及び地方政府）	
<p>1 人的移動制限 （査証，入院時の感染検査，非感染証明書の発行，隔離帰還など）</p>	<p>・ 2020年4月24日政令第593号により，強制自宅待機措置は5月11日まで維持されるが，それ以降，18歳から60歳までの市民は屋外で1日1時間余りの運動を許可されるとみられる。（「エル・ティエンポ」紙，4月26日）</p>
<p>2 貨物移動制限 （港湾，空港，陸路，税関，検疫，物流の遅延など）</p>	
<p>3 商業活動制限 （オフィス，工場，通勤路の閉鎖など）</p>	<p>・ 2020年4月8日政令第531号によって，政府は，工事，路面状態の点検，工事に必要な資材の搬入などのインフラ分野の全ての関係者が，新型コロナウイルスの感染拡大防止のための厚生・社会保障省によって規定された公衆衛生上のプロトコルを遵守することを条件に，事業の再開を許可した。コロンビア・インフラ商工会議所の試算で34兆ペソ（約87億米ドル）が投資されている，全国各地の1,000余りの工事を再開できることとなる。（「ポルタフォリオ」紙，4月15日）</p> <p>・ 2020年4月24日政令第593号により，4月27日から，政府はインフラ分野以外に，建設業及び，繊維，衣料，革製品，製材，製紙，化学薬品，金属加工，電気機器製造の分野に限る製造業に対し，厚生・社会保障省が規定する公衆衛生上のプロトコルを遵守することを条件に，事業の再開を許可した。これらは，経済を再開させる第一歩であり，国内で最も雇用を生み出している経済部門となる。また，工場の操業，修理，メンテナンス，自転車及び自転車部品の売買が可能となった。（「エル・ティエンポ」紙，4月26日）</p>

Ⅲ. 医療システムのパンデミック対策	
1 公的措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年4月15日政令第551号によって、医療に必要な211の必須基本製品の付加価値税の廃止を承認。これには、防護メガネ、ゴム手袋、手術衣、フェイスマスクなど、パンデミック対策に必要な物品が含まれる。（「エル・ティエンポ」紙，4月16日）</li> <li>・ 2020年3月25日政令第476号により、厚生・社会保障省は、新型コロナウイルスの予防、診断、及び治療のために必要な技術と医療機器の導入に柔軟に対応するとした。これまでは、食品薬品監督庁（INVIMA）の審査により、6～8ヶ月を要していた手続きが最大1週間程度となる。（「エル・ティエンポ」紙，4月23日）</li> </ul>
2 私的措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月1日、ボゴタ商工会議所は、ボゴタ市の病床拡充のために、15億ペソ（38万米ドル）を寄付した。これは、プロボゴタ・リージョン、コロンビア工業連盟（ANDI）、ボゴタ商工会議所、米・コロンビア商工会議所、Camacol, Asobanacariaで構成された協定によって、ボゴタ市の病床拡充のために、350億ペソ（約893万米ドル）の寄付を目指したものの一部。（「ポルタフォリオ」紙，「ラ・レプブリカ」紙，4月1日）</li> <li>・ 4月15日、アバル・グループ会長のサルミエント（Luis Carlos Sarmiento）氏はサバナ大学が主導する人口呼吸器の設計プロジェクトに120万米ドルの寄付を発表した。INVIMAに承認されると、Indumil, Cotecmar, Challengerによって600台生産される見込み。（「エル・ティエンポ」紙，4月16日）</li> <li>・ 4月18日、GM及び日産は、国や地方自治体に医療関係者の移送などに利用を目的とした51台の車両の貸与を開始した。（「ラ・レプブリカ」紙，4月20日）</li> <li>・ ANDIは、「#全国で団結しよう」キャンペーンを開始。これは、最も重篤な患者に必要な人工呼吸器の緊急製造を支援するための資金集めとなる。（「ディネロ」誌，4月2日）</li> <li>・ サバナ大学のチームは低コストでの、人工呼吸器の設計と製造に取り組んでいる。感染の流行に備え、いくつかの部品の製造がおこなわれており、すでに、試作品の製造が工学部の研究所とIndumilで開始されている。（「エル・ティエンポ」紙，4月13日）</li> </ul>

IV. 経済対策	
1 市場流動性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月14日、中央銀行は、臨時理事会を開催し、銀行の法定準備率を引き下げることを選定した。4月22日以降、当座預金と普通預金引当金要件は11%から8%に引き下げられ、180日未満の定期預金では4.5%から3.5%に引き上げられる。この措置により、9兆ペソ（約22億米ドル）が市場に流入するとみられる。（「エル・ティエンポ」紙、4月15日）</li> </ul>
2 市民への融資及び給付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020年4月15日政令第579号によって、6月30日まで住居や商店の家賃の不払いを理由に立ち退きを要求することができず、この期間の滞納を理由に利息を請求できないとしている。同様に、賃貸契約の終了日は、緊急事態が終了するまで延長され、賃料は改定できないとしている。ただし、当事者間で合意に達する必要がある。（「エル・ティエンポ」紙、「ポルタフォリオ」紙、4月17日）</li> <li>・ 2020年4月15日政令第580号に基づき、住居・都市・国土省は、自治体がそれぞれの財源に応じて、公共サービスの費用に補助を行う可能性について示唆している。（「エル・ティエンポ」紙、「ポルタフォリオ」紙、4月17日）</li> <li>・ 2020年4月15日政令第575号により、航空券の付加価値税は2021年まで19%から5%に引き下げられる。長距離バス運賃に関しても同様に適応される。（「エル・ティエンポ」紙、「ポルタフォリオ」紙、4月17日）</li> <li>・ 4月13日、科学技術省は、新型コロナウイルスによる危機が続いている中、4ヶ月間、プリペイド及びポストペイドの全ての携帯電話サービスプランに関し、最大7万1,214ペソ（約18米ドル）の付加価値税を免除すると発表した。（「エル・ティエンポ」紙、「ポルタフォリオ」紙、4月14日）</li> <li>・ 2020年4月7日決議第78号により、政府は、国内で供給を保証し、価格を管理する必要がある26品目のリストを作成した。これには、新型コロナウイルスのパンデミックに取り組むために必要となる、医薬品、医療機器の他に食料品が含まれる。食料品として、牛乳、米、卵、砂糖、油、ジャガイモなどがリストに含まれた。医療機器には、マスクと手袋が含まれ、医薬品にはイブプロフェンとアセトアミノフェンが含まれる。価格の吊り上げや買い溜めを防止するために、産業・商業監督庁及び統計庁が監視と管理を行う。（「ポルタフォリオ」紙、4月13日）</li> <li>・ 2020年4月1日政令第507号により、商工観光省は、食料品や日用品の価格釣り上げと買い溜めを防止する。（「ACコロンビア」紙、4月4日）</li> </ul>
3 企業への融資及び資金供与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月10日、農業省は、3,110億ペソ（約8200万米ドル）が経済・社会的緊急事態の期間中に農業部門の1万1,500人の生産者に融資されたと発表した。37%が小規模生産者、36%が中規模生産者、27%が大規模生産者に融資された。（「エル・ティエンポ」紙、4月11日）</li> <li>・ 2020年4月10日政令第535号により、公衆衛生上の緊急事態宣言の期間中、所得税と付加価値税の納税者に還付を行うこととし、パンデミックにより経済的影響下で、十分なキャッシュフローと流動性を持たせることとした。（「ポルタフォリオ」紙、4月29日）</li> </ul>

- ・ 2020年4月15日政令第557号により、緊急事態宣言の期間中観光税が観光ガイドの生活支援に利用できることとした。（「エル・ティエンポ」紙、「ポルタフォリオ」紙、4月16日）
- ・ 2020年4月15日政令第558号により、企業の支出を一時的に削減して、雇用を維持できるよう4月と5月の2ヶ月間、年金基金への拠出を凍結。（「エル・ティエンポ」紙、「ポルタフォリオ」紙、4月16日）
- ・ 2020年4月15日政令第558号により、最低受給額の私的年金に加入している2万人が Colpensiones に転入できることとなった。これは、これらの基金が運営する年金預金の個人口座は金融市場のボラリティがより高いため、資産減少から年金受給者を保護するための措置となる。（「エル・ティエンポ」紙、「ポルタフォリオ」紙、4月16日）
- ・ 2020年4月15日政令第560号により、企業の倒産を防ぎ、雇用を維持するための暫定的な回復システムを策定。この措置により、債務者と債権者の合意により、追加融資を受けることができる。（「エル・ティエンポ」紙、「ポルタフォリオ」紙、4月16日）
- ・ 2020年4月15日政令第562号により、政府は銀行に対する強制投資をできるようになった。これは、一年後あるいは2029年に返済期限を迎える連帯証券（TDS：Titulos de Solidaridad）を購入する義務を銀行に課すもの。この投資は、緊急緩和基金（FOMEの）の資金となる。（「エル・ティエンポ」紙、「ポルタフォリオ」紙、4月16日）
- ・ 4月7日、地域開発銀行（Findeter）は、新型コロナウイルスの影響を最も受けている、公的部門及び私的部門を支援することを目的として、7,130億ペソ（約1億9,000万米ドル）の資金を調達した。このうち、4,610億ペソ（約1億2,000万米ドル）は、輸送、厚生、住宅、教育、エネルギー開発、飲料水、公衆衛生文化などの分野での運転資金に利用され、2,500億ペソ（約6,600万米ドル）は、投資に回される。（「マネー・マガジン」、4月8日）
- ・ 4月15日、カラスキージャ財務・公債相は、全国保証基金が3種類の保証を支援し、企業やフリーランスが追加融資を利用できるようになるとした。第1に、中小企業が給与を支払うために、総額12兆ペソ（約31億米ドル）に及ぶ90%保証された融資を受けることができる。第2に、中小企業が運転資金として、総額3兆ペソ（約8億ドル）に及ぶ90%保証の融資を受けることができる。第3に、フリーランスが総額1兆ペソ（約3億米ドル）に及ぶ80%保証の融資を受けることができる。（「ラ・レプブリカ」紙、4月16日）
- ・ 4月24日、Banco Idexは、4,600億ペソ（約12億米ドル）の資金を、新型コロナウイルス対策に提供された各種の融資枠を通じて、ボゴタ市と23県において、観光業、航空業の大企業、中小零細企業、個人に対し、融資を行う。中小企業には、3,000億ペソ（約8,000万米ドル）、大企業には5,000億ペソ（約1億3,000万米ドル）まで融資を行う。（「ポルタフォリオ」紙、4月30日）

## V. 経済的影響

### 1 経済指標

コロンビアのGDPは2020年に下落

- ・IMFは、ラテンアメリカの地域経済が-2.4%に下落すると予測した。世銀は-2%となった。国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）は、2020年のコロンビア経済は-2.6%と予測した。また、ベネズエラ-18%、エクアドル16.5%、ブラジル-5.2%などと比較して、いち早く危機を脱する国と見られている。（IMF、世銀、ECLACウェブサイト）
- ・民間の格付け機関ムーディーズは、コロンビア経済に関する予測を下方修正し、-2%から-3%程度縮小すると予測した。ただし、GDPは2021年には回復し、3.5%となると見られている。（「ラ・レプブリカ」紙、4月23日）
- ・4月14日、カラスキージャ財務・公債相は、コロンビア経済が当初予想されていた3.7%から-1.5%~-2%のいずれかに下降することを考慮すると2020年はコロンビア経済にとって史上最悪の年となるとした。（「エル・エスペクタドール」紙、4月15日）

新型コロナウイルスに影響を受けた経済指標

- ・商工観光省によれば、3月の輸出は前年同月比8.7%減少したが、燃料輸出の減少が15.1ポイント分に寄与しており、うち8.4ポイント分は油価下落によるものである。（燃料輸出自体は45.8%の減。）（「ディネロ」誌、4月30日）
- ・3月のエネルギー需要は15%以上減少。（「ポルタフォリオ」紙、4月2日）
- ・2月の失業率は12.2%となったが、新型コロナウイルスの影響はまだ反映されていない。（「ポルタフォリオ」紙、4月1日）
- ・3月の失業率は過去10年間で最悪の12.6%であり、これは前年比で160万人の雇用が失われたことになる。国家統計庁（DANE）の説明によれば、25歳から54歳（91万8,000人減）の内訳は、35万4,000人の男性と56万4,000人の女性である。分野別で最も大きな影響を受けた、芸術・文化・レジャー産業は最も減少人数の多い51万2,000人の減となった。製造部門では40万3,000人の減であった。4月15日時点では、前年比30倍のレイオフが行われていると指摘した。（国家統計庁ウェブサイト、4月30日）
- ・労働省は、4月の失業率は15%~20%に到達するとの予測を示した。（「エル・ティエンポ」紙、4月29日）
- ・3月のインフレ率は0.57%に低下した。これは消費が冷え込んだためと見られる。（「エル・ティエンポ」紙、4月5日）
- ・4月20日の石油価格（WTI）は1バレル16ドルの水準に下落したが、GDPの約7%、輸出の56%、直接投資の34%及び中央政府の歳入の約10%を占めるため、部門横断的な影響が生じる。（「ポルタフォリオ」紙、4月20日）
- ・政策金利は3.75%に引き下げ。（中央銀行ウェブサイト、4月30日）
- ・為替は1ドル=4,100ペソの水準にまで下落した。（「ポルタフォリオ」紙、4月1日）
- ・財政赤字は増大の見込みであり、4月14日のカラスキージャ財務・公債相発言では2020年財政赤字をGDP比4.9%と予測

	<p>した。(「ラ・レプブリカ」紙, 4月16日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月の消費者信頼感指数は, -23.8%まで下落。(「ポルタフォリオ」紙, 4月8日)</li> <li>・3月の小売信頼感指数は, -30.8%となり, 1980年以来最低となった。(「ラ・レプブリカ」紙, 4月23日)</li> <li>・3月の産業信頼感指数は, 過去最低の-35%となった。(「ラ・レプブリカ」紙, 4月22日)</li> <li>・スタンダード・アンド・プアーズ社は, コロンビアの経済成長率が2020年に-2.6%となると予測しているが, 2021年には4.1%の成長に転じると見ている。これは, コロンビアが新型コロナウイルスパンデミックの影響が最も少ない国の一つであり, これまでの堅調な成長に基づいて回復すると見られていることによる。(「エル・ティエンポ」紙, 4月29日)</li> </ul>
2 部門別影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光業では, イースター休暇中に71%航空輸送が停止。また, ホテルの占有率は2019年と比べて93%減少した。(「ポルタフォリオ」紙, 「エル・ティエンポ」紙, 4月3日)</li> <li>・3月の車両販売台数は, 前年同月の20,184台から12,290台に-39.1%減少した。これにより, 自動車産業は大打撃を受けている。また, 2020年はモーターショーが開催されないこととなった。(「エル・ティエンポ」紙, 4月4日, 25日)</li> <li>・4月には, 全国で217台の車両が販売された。これは, 前年同月比98.9%の減少となる。2020年の累計販売台数は, 5万1,481台となり, 前年同期比30.8%の減少となった。(自動車輸入協会 (ANDEMOS) ウェブサイト)</li> <li>・4月中旬, コロンビア工業連盟 (ANDI) 及びプラスチック協会 (Acoplásticos) が会員にアンケートを行ったところ, 会員企業は, 給与の支払いなどの全ての法令上の義務を達成するならば手持ち資金は11日分しかないとの回答であった。(「ラ・レプブリカ」紙, 4月23日)</li> <li>・4月中旬, 全国小売連盟 (Fenalco) が会員に行ったアンケートによれば, 会員企業の3分の1に支払い資金がなく, 38%が倒産の危機に瀕しているとの結果であった。(「ラ・レプブリカ」紙, 4月30日)</li> <li>・3月の観光客は前年同月比47%減少し, 緊急宣言以降の同航空機利用者は200万人減少したと推計される。</li> <li>・コロンビア鉱業協会は, 全国の鉱山事業の75%が停止したと報告したが, 徐々に再稼働に向かっているとしている。(「ポルタフォリオ」紙, 4月20日)</li> <li>・ボゴタメトロ第1路線の工事は, 新型コロナウイルスの影響を受けて, 工期が延長された。監査は, 4月14日から5月27日に延期され, そのため, メトロ・デ・ボゴタ社と受注業者との間の契約の署名も延期された。また, 資材の購入も一時停止された。(「エル・ティエンポ」紙, 4月27日)</li> </ul>

## 2. 新型コロナウイルス関連を除く概況

### 1 主な出来事

#### <国内情勢>

(1) ドウケ大統領は、税制改革の先送りに言及（「エル・ティエンポ」紙，4月16日）

ドウケ大統領は、今は税制改革のタイミングではなく、政府のアジェンダには含まれていない旨述べ、新型コロナウイルス流行による危機から抜け出したのち、財政を強化する方法を策定するとした。この発表により、カラスキージャ財務・公債相が明らかにしたように、政府が新しい税制改革プロジェクトに取り組む可能性は排除された。

(2) 情報技術・通信相の交代（「エル・ティエンポ」紙，「ポルタフォリオ」紙，4月30日）

コンスタンティン情報技術・通信相は、海外でのハイレベルの求人に応じるため、職を辞した。ドウケ大統領は、後任として、アブディネン（Karen Abudinen）地方担当高等審議官を後任として任命した。アブディネン新大臣は、インターネット環境のない2,000万人以上の国民に対し、接続環境を提供するという課題に直面する。

(3) 第1四半期の対外直接投資は、2.9%増加（「エル・ティエンポ」紙，「ポルタフォリオ」紙，4月18日）

中央銀行の速報値によると、2020年第1四半期の対外直接投資は、29億1,300万米ドルで、前年同期と比較して2.9%増加している。非鉱業部門への投資は、249%増加し、総投資額の47%に相当する13億7,500万米ドルに達した。これらの数値は、新型コロナウイルス流行以前の、コロンビアのマクロ経済の力強さ及び投資先としての魅力を示している。他方、第2四半期では、対外直接投資は確実に減少するとみられる。



主な経済指標

経済活動指標	2019/02	2019/12	2020/01	2020/02
国内総生産(四半期)(DANE):%	2.9	3.5	1.4	1.4
経済活動指数(DANE):%	3.0	3.1	3.5	4.8
経済活動指数第1次産業(DANE):%	2.5	2.8	2.7	7.1
経済活動指数第2次産業(DANE):%	-0.5	2.2	-0.1	0.0
経済活動指数第3次産業(DANE):%	4.1	3.5	4.7	5.6
エネルギー需要(XM):GWh	5,509	6,213	6,119	5,988
エネルギー需要-前年同月比(XM):%	5.2	5.4	4.9	5.0
<b>雇用</b>				
全国平均失業率(DANE):%	11.8	9.5	13.0	12.2
主要13都市失業率(DANE):%	12.4	10.5	12.9	11.5
<b>消費</b>				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO):%	-5.6	-9.5	-1.2	-11.2
実質小売売上高指数(DANE):%	5.7	7.1	7.5	13.2
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS):台	18,486	30,713	18,427	20,547
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS):台	34,451	263,684	18,427	38,974
<b>物価</b>				
消費者物価上昇率-前年同月比(DANE):%	0.57	0.26	0.42	0.67
消費者物価上昇率-前年比(DANE):%	3.01	3.80	3.62	3.72
生産者物価上昇率-前月比(DANE):%	0.93	5.56	-0.73	-1.02
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省):ペソ/ガロン	9,539	9,704	9,702	9,702
<b>生産</b>				
実質工業生産指数(DANE):%	2.8	3.2	3.7	4.6
実質工業売上高指数(DANE):%	3.1	1.0	4.5	3.4
新規建設着工承認面積(DANE):㎡	1,737,907	4,040,959	1,707,335	1,799,605
コーヒー生産量(FNC):千袋(60Kg)	1,106	1,680	1,050	1,001
コーヒー生産量-前年同月比:%	-9	31	-19	-9
コーヒー価格(IOC)/11月から"SUAVE":USD	128.97	160.17	150.80	144.13
石油生産量(日量)(鉱山省):バレル	892,689	882,222	883,872	878,389
石油生産量-前年同月比(鉱山省):%	8.4	-0.8	-1.7	-1.6
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省):バレル	895,831	885,884	883,872	881,131
石油価格WTI:USD/バレル	54.95	59.88	57.52	50.54
<b>金融</b>				
政策金利(中央銀行):%	4.25	4.25	4.25	4.25
為替 月初(中央銀行):COP	3,115.70	3,522.48	3,277.14	3,423.24
為替 月末(中央銀行):COP	3,072.01	3,277.14	3,411.45	3,539.86
為替 最高値(中央銀行):COP	3,155.27	3,522.48	3,411.45	3,539.86
為替 最安値(中央銀行):COP	3,072.01	3,277.14	3,253.89	3,355.44
株式指数 月初(中央銀行):COP	1,462.03	1,598.33	1,658.77	1,625.18
株式指数 月末(中央銀行):COP	1,508.27	1,662.42	1,623.83	1,549.61
株式指数 最高値(中央銀行):COP	1,519.95	1,666.62	1,676.49	1,676.29
株式指数 最安値(中央銀行):COP	1,462.03	1,589.90	1,623.83	1,549.61
<b>貿易</b>				
貿易収支(FOB)(DANE):百万米ドル	-582	-553	-695	-831
輸出額(FOB)(DANE):百万米ドル	3,183	3,330	3,419	2,943
輸出額(FOB)-前年同月比(DANE):%	5.1	-2.3	11.5	-7.5
輸出額(FOB)年内累計(DANE):百万米ドル	6,249	39,489	3,419	6,362
輸入額(CIF)(DANE):百万米ドル	3,951	4,078	4,330	3,968
輸入額(CIF)-前年同月比(DANE):%	8.2	-2.5	0.6	0.4
輸入額(CIF)年内累計(DANE):百万米ドル	8,253	52,703	4,330	8,298
労働者送金(中央銀行):百万米ドル	483	640	514	515